

# 活動報告

2018年9月1日付号

**日本共産党**  
前市会議員

# とがし豊



皆様のご意見をお寄せください！発行・日本共産党京都左京地区委員会 電話・761-6341(自宅TEL771-7847)

## 日誌

### 【8月】

1日北泉橋いらない！住民訴訟傍聴  
4日平和のための戦争展、川東学区夏祭り  
5日京建労左京支部葵分会レク、消防団パトロール  
8日南禅寺ぎんもんど跡ホテル建設中高層説明会  
16日送り火・大文字防火警備  
19日左京みんなのデモ  
20日消防団パトロール  
21日左京市民アクション事務局会議、左京生健会学習会  
23日台風20号一明朝まで消防団詰所待機  
24日綾部市議選支援、南禅寺・岡崎の景観と住環境を守る会世話人会  
25日川東・石原町ホテル建設説明会、だん王法輪寺夏祭り子ども地藏盆  
27日錦林小学校 PTAアルミ缶整理

## 9月市会での主な日程

9/19～10/25 決算集中審議

9/27,28 代表質問  
★テレビ中継あり

10/16-17 市長総括質疑  
★本会議場で傍聴できます。  
一問一答の討論です

八月二十一日に開かれた左京生活と健康を守る会の学習会。「貧困問題と生存権」をテーマに中野加奈子先生（大谷大学社会学部准教授）が講演。参加者とアットホームな雰囲気の中で意見交換。救急病院のソーシャルワーカーや京都市ホームレス訪問相談員などの体験や貧困に関する深い分析に大変学ばされました。障がいによって、いろいろなことがうまくできないのに、周囲にわかってもらえず孤立し、困窮した生活からSOSを発して抜け出せない人が増えているというお話も大変共感してお聞きしました。私のところに相談に来られる方の中にも、行政の窓口に行ってもうまく自分のおかれた状況を説明できず制度を受けられないというケースがあります。「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と謳う憲法をよりどころに、当事者の実情をよくきき、行政との橋渡しを支援する日本共

格差をただし、暮らし応援の政治を

飛鳥井ホットスペースでの学習会の様子(下)、講演後、中野加奈子先生と握手する私。(右)



産党ならではの生活相談活動の大切さも痛感しました。また、「貧困」が拡大し、その現れ方が多様でわかりにくくなっている中、インターネットでの情報発信、「子ども食堂」などの地域での気軽に行うなど、若年層からお年寄りまであらゆる世代の方が相談しやすい暖かい人間関係のネットワークづくりも大切であり、憲法を生かした市政実現へ、一層意欲を強くしました。

## 今どきの図鑑

町内の地藏盆で子どもたちがいつも楽しみにしている福引。今回も「おもちゃ+二〇〇〇円の図書券」を進呈しました。その図書券で、次女が「植物図鑑」、長男が「恐竜図鑑」を買いました。さっそく付属のDVDを見たり、図鑑を開いて大盛り上がり。トリケラトプス対ティラノサウルスの対決を再現する恐竜ごっこをしたり、お花の話をしたり。そのうち、最初は「図書券はお金に両替して貯金する」といついていた長女もついに「私は宇宙図鑑がいい」と言い出し、2日遅れで宇宙図鑑を購入。さて、皆さんは近頃の図鑑の進化をご存知でしょうか。私が子ども時代には、図鑑と言えば分類のためだけの存在で、様々な解説などは付け足し・わき役でした。しかし、今どきの図鑑は、最新の科学の到達を鮮明なCGやイラストで再現・解説し、その上、その内容の理解を促すDVDまで付属しています。大人も十分楽しめる内容です。目を輝かせながら、大人たちが築いてきた最新科学の到達を学ぶ子どもたち。政治・行政の分野も、沖繩の故・翁長知事の県政のような中身であれば素敵な図鑑をつくり子らに解説したいのですが。

## 宿泊施設は管理者 24 時間常駐があたりまえ！ 町内会の交渉をサポート、事業者と合意

5月の条例改正(6・15施行)では、2室10人以上の宿泊施設は24時間職員常駐が義務化されていますが、条例施行以前に手続きを開始していた宿泊施設は2年間の猶予期間がみつめられていました。川東学区石原町建設予定のホテルは当初、この抜け道(猶予期間)を使って午後11時～翌朝9時までは従業員は滞在させないと主張。しかし、説明会で条例改正の趣旨を伝えし、既存の民泊による被害の実情と常駐体制の必要性を住民が繰り返し訴える中で方針を転換。24時間常駐体制をとって営業するという合意に。

暮らしのお困りごと、気軽にご相談ください。  
下記に記載し FAX いただければ幸いです。電話も歓迎。  
**FAX 761-6345 (日本共産党左京地区委員会気付)**  
「解決」に向け、全力でサポートします。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_